



↑竹を使って竹とんぼや水でっぽうをつくる参加者たち

☆ **む** こどもの日無料開放デー かしの遊びに挑戦

こどもの日の5月5日、長島町歴史民俗資料館は無料開放デーを実施しました。当日は好天に恵まれ、約50人の家族連れが来場し、昔の遊びや長島の歴史にふれる機会となりました。

会場では、「むかしの遊び体験」として長島町文化財保護審議会（林季治会長）の皆さんが竹とんぼや水でっぽう、かざぐるまなどの作り方、遊び方を実技指導しました。子どもたちは慣れないナイフをにぎって竹とんぼづくりに挑戦したり、自作のかざぐるまを回したりして遊んでいました。

保護者らは、職員から館内の展示物の説明を受け、「長島にこんな歴史があったのか」と感心していました。

同資料館では、来年も「こどもの日無料開放デー」を実施する予定です。

↓ 新型インフルエンザの影響で関西ながしま会が販売を担当



☆ **な** 第5回関西鹿児島ファンデー がしま会が販売協力

関西在住の鹿児島県関係者の親睦と鹿児島の魅力をもPRする「第5回関西鹿児島ファンデーが」5月24日、大阪府の京セラドーム大阪で開催されました。当日は、当初の予想を上回る3万2000人の来場者を集め、ステージでの催しや物産観光展で盛り上がりました。

物産観光展では、本県関係市町村や企業、団体など200を超えるブースが立ち並びなか、本町ブースは関西ながしま会の皆さんが焼酎や赤巻、ジャガイモ、ブリ、アオサ、味噌などの販売に協力していただき、大盛況でした。

☆ **伊** PTAに呼びかけ集まる 唐小で30匹の鯉のぼりが泳ぐ

伊唐小学校は4月28日から5月下旬まで校内に鯉のぼりを掲げました。

長島には「男の子が生まれたら、初節句に親戚が鯉のぼりを贈る」という風習があります。この伝統を児童たちに伝えようとPTAに呼びかけたところ、各家庭のタンスなどに眠っていた30匹ののぼりが集まり、運動場に飾り付けました。児童たちは空高く泳ぐ鯉たちから元気ももらっていたようです。

5年生の堂崎慶次郎君は「ジャンプしたらしっぽに触れるのが楽しい。飾ってもらってうれしいです」と喜んでいました。



↑鯉のぼりの下で元気に遊びまわる児童たち